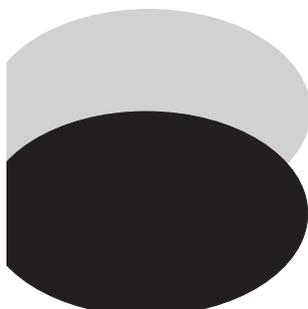


20200731

絵本学会 NEWS No.67

発行：絵本学会
発行日：2020年7月31日
編集：絵本学会広報委員会
絵本学会事務局：〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
刈谷市美術館内 絵本学会事務局
E-mail office@ehongakkai.com
http://www.ehongakkai.com



絵本学会

絵本学会第23回定期総会
各委員会からのおしらせ
絵本学会Who's who
新入会員紹介
理事会議事録

— 絵本学会 第23回定期総会 —

新型コロナウイルス感染症のため、2020年度の総会は書面での議決とし、2020年6月19日必着で書面議決書をご提出いただきました。皆様には、書面による議決書にご協力をいただき、誠にありがとうございました。その結果について、下記のとおりでご報告いたします。(絵本学会事務局)

絵本学会 第23回定期総会 議決結果

1 提出者

会員 525人中 264人提出

2 議事

議案 第1号	2019年度活動報告について	賛成 263	反対 0	無効 1
議案 第2号	2019年度決算・会計監査報告について	賛成 262	反対 1	無効 1
議案 第3号	2020年度活動計画について	賛成 263	反対 0	無効 1
議案 第4号	2020年度予算案について	賛成 261	反対 1	無効 2
議案 第5号	日本絵本研究賞の見直し案について	賛成 260	反対 2	無効 2
議案 第6号	会則の変更について	賛成 262	反対 1	無効 1

3 結果

すべての議案について、議決書を提出した会員の過半数の賛成をもって可決されました。総会資料の(案)という文字を消していただくようお願い申し上げます。

4 意見等

①決算報告、予算案の日付が、「～年4月1日～～年3月31日」でないことについて、説明が必要と思われる。

→ご指摘のとおり、決算、予算の期間は、「～年4月1日～～年3月31日」であることは承知しております。しかしながら、昨年度総会で承認を得た決算報告書の日付は、「2018年4月27日～2019年3月31日」となっており、すでに日付のズレが生じております。例年、総会が6月となっておりますので、前年度の活動経費の支払いが3月31日付けで終わることができず、4月に及んでいるのが原因です。今後は、事務局として善処するよう努めます。

②今年度いっぱい役員改選かと思えます。選挙について、活動計画に入れて欲しかった。

→ご指摘の件は、議案を作成している事務局のミスです。学会NEWS掲載の際に修正追加いたします。

③決算書の記載(予算額と決算額の増減の箇所)が分かりにくい。
→決算書は、通常、予算額、決算額で処理いたしますので、「予算-決算」となります。ですので、黒字の場合に「-」表記となりますが、来年度も同様の仕様で行います。

④監事の千田さんの印鑑の押印がありません。

→総会資料は、千田監事、香曾我部監事のサインと押印を頂戴した原

2019年度 活動報告

本をリソグラフ印刷いたしました。印刷機有加減で千田監事の押印が見難い状態となりましたが、ご押印を頂戴しております。

⑤活動計画と予算の関連性が不透明です。

→ほぼ昨年度実績ベースで予算化をいたしました。日本絵本研究賞の募集に関しては、運営委員会の予算を昨年度に比べ増加しております。活動計画あつての予算ですので、事務局といたしましては、関連していると認識しております。今後は、活動報告を詳細にするなど、可視化に努め、ご理解を得るようにいたします。

5 要望等

①勉強会、研修等の会をもう少し増やすことはできますか？

②7月13日の京都でのフォーラム、7月20日の大阪府立中央図書館での国際講演会に参加しました。今後も関西方面での催事を希望します。また、その際に主催者から「絵本学会」の説明や活動に関する資料の配布があれば、「絵本学会」主旨が伝わったと思います。

③絵本学会会員情報記入表の記述様式が非常に解り辛いものでした。すべてが例えば、「(1)は～」のような記述様式でしたら分りやすかったと思います。

④〔日本絵本研究賞について〕 学術団体を目指すのに、後援依頼の意味がよく分かりません。絵本の専門家(学術的な)による審査であるべきで、様々な分野の方の「いいね」で選考するものではありません。学会の在り方を見直してください。

→要望は理事会または担当の運営委員会において検討を行うようにいたします。

◎第22回絵本学会大会の開催

2019年6月1日(土)、2日(日)

帝京大学八王子キャンパス

テーマ:「絵本と教育～メディアとしての絵本、その魅力と多様性を探る～」

参加者:会員140名、一般93名(学生含む)、計233名

◎企画委員会の活動

・絵本フォーラムの開催

2020年2月8日(土) 京都女子大学(京都市東山区)

テーマ:『『ぼくのたび』ができるまで 絵本作家 みやこしあきこ・絵本編集者 沖本敦子』

参加者:84名

◎紀要編集委員会の活動

・絵本学会研究紀要『絵本学』第22号の刊行

・2019年度絵本研究参考文献目録(2019年1月～12月発行分)の作成

・2019年度絵本原画展・絵本画家展リスト(2019年1月～12月開催分)の作成

◎機関誌編集委員会の活動

・機関誌『絵本BOOK END 2019』の刊行

・バックナンバーの販売促進

◎研究委員会の活動

・絵本セミナーの開催

2019年7月20日(土) 大阪府立中央図書館 大会議室

テーマ:「国際講演会 韓国の絵本作家 パク ジョンチェの絵本を語る」

参加者:74名(内絵本学会会員:15名)

・絵本研究助成(3件、各5万円)

〈個人研究・調査〉

①「SDGs*絵本」の収集と考察、および、同テーマの学びにおける絵本活用への提案」

*Sustainable Development Goals 「持続可能な開発目標」

申請者:前田君江

②「中華人民共和国における絵本・児童書の出版状況の研究、及び、絵本の出版」

申請者:後藤仁

〈プロジェクト研究・調査〉

③「小学校英語教育に用いる主体的・対話的で深い学びの視点で選ぶ英語絵本の選定と考察」

申請者:松本由美

共同研究者:長澤麻理、若林みずほ

◎広報委員会の活動

・『絵本学会NEWS』の発行

64号(2019年7月31日)、65号(2019年11月30日)、

66号(2020年3月30日)

・ホームページの管理

・メールニュースの配信

◎日本絵本研究賞の運営活動

・第4回日本絵本研究賞の運営検討

◎「フォーラム・子どもたちの未来のために」の活動報告

(絵本学会は構成7団体の一つ)

・私たちの時代・私たちの表現ーいま、子どもたちに何を伝えるかー

講師:中島京子、ひこ田中、あさのあつこ、長谷川義史、
令丈ヒロ子

日時:2019年7月13日、14:00～16:30

会場:ひと・まち交流館京都(京都市)

・私たちの時代・私たちの表現ーいま、子どもたちに何を伝えるかー

講師:森絵都、古内一絵、小手鞠るい

日時:2020年2月1日、14:00～16:00

会場:出版クラブビル(神保町)

◎他学会等との連携

日本児童文学学会、日本イギリス児童文学学会、日本マンガ学会等との連携推進

◎入退会

2019年度 新入会者 52名 退会者 25名 除籍者 9名
(2020年3月31日段階)

2020年度 活動計画

◎第23回絵本学会大会の開催

*新型コロナウイルス感染症対策のため、2021年6月に再延期

熊本県阿蘇郡高森町

テーマ:「絵本と自然ー絵本における自然表現を考える」

◎企画委員会の活動

・絵本フォーラム等の開催

◎紀要編集委員会の活動

・絵本学会研究紀要『絵本学』第23号の刊行

・2020年度絵本研究参考文献目録(2020年1月～12月発行分)の作成

・2020年度絵本原画展・絵本画家展リスト(2020年1月～12月開催分)の作成

◎機関誌編集委員会の活動

・機関誌『絵本BOOK END 2020』の刊行

・バックナンバーの販売促進

◎研究委員会の活動

・研究会の開催

・絵本研究助成

◎広報委員会の活動

・『絵本学会NEWS』の発行 年3回の予定

・ホームページの管理

・メールニュースの廃止

◎特別委員会の活動

・第4回日本絵本研究賞の運営

◎絵本学会役員選挙の実施

◎絵本学会会員名簿2020年度版の作成

◎「フォーラム・子どもたちの未来のために」の活動

(絵本学会は構成7団体の一つ)

◎日本学術会議協力学術研究団体への絵本学会の登録申請

◎他学会等との連携

◎その他

2019年度 決算報告

2019年4月1日～2020年4月30日
単位:円

科 目	予算額	決算額	増減(予-決)	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①受取会費収入	3,640,000	4,852,000	-1,212,000	
賛助会員	180,000	140,000	40,000	20,000×7口分(現在7団体)
正会員	3,400,000	4,642,000	-1,242,000	8,000×484名分(現在506名)
準会員	60,000	70,000	-10,000	準会員a3名、準会員b9名分
②事業収入	420,000	459,704	-39,704	
研究活動事業収入	20,000	70,244	-50,244	
フォーラム収入	20,000	70,244	-50,244	フォーラム参加費と書籍収入
研究会収入	0	0	0	
出版事業収入	400,000	389,460	10,540	
③雑収入	130,100	245,856	-115,756	
受取利息収入	100	1	99	
入会金収入	80,000	104,000	-24,000	入会金2,000×52名
雑収入	50,000	141,855	-91,855	出版物在庫販売等
事業活動収入合計	4,190,100	5,557,560	-1,367,460	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	2,370,000	1,896,713	473,287	
人件費支出	400,000	400,000	0	
事務局報酬支出	400,000	400,000	0	事務局賃金等
事業費支出	1,970,000	1,496,713	473,287	
消耗品費支出	50,000	16,950	33,050	事務消耗品費
印刷製本費支出	710,000	477,671	232,329	
絵本学会ニュース	170,000	132,960	37,040	絵本学会 NEWS64,65,66号
研究紀要	450,000	277,200	172,800	紀要制作費(22号分)
その他	90,000	67,511	22,489	封筒印刷代、払込書印字代
通信運搬費支出	500,000	432,864	67,136	NEWS等発送費・通信費
旅費交通費支出	500,000	315,032	184,968	理事旅費等(理事会4回/年)
会議費支出	0	0	0	
広告費支出	120,000	182,970	-62,970	
印刷物制作費支出	0	0	0	
HP更新作業費支出	120,000	182,970	-62,970	
振込手数料	10,000	6,226	3,774	
雑支出	80,000	65,000	15,000	絵本学会大会労賃、発送作業など
②活動費支出	1,110,000	992,111	117,889	
大会運営補助金支出	400,000	342,952	57,048	ポスター等制作費を含む
第22回絵本学会大会補助金	400,000	342,952	57,048	
専門委員会活動費支出	560,000	499,159	60,841	
企画委員会	170,000	184,897	-14,897	フォーラム収入を除く
紀要編集委員会	100,000	56,837	43,163	紀要編集等
機関誌編集委員会	70,000	69,811	189	『絵本 BOOK END』編集
研究委員会	80,000	78,474	1,526	研究会主催
広報委員会	110,000	82,080	27,920	『絵本学会 NEWS』編集
特別委員会	30,000	27,060	2,940	
研究助成費支出	150,000	150,000	0	
③出版事業支出	1,300,000	1,210,680	89,320	『絵本 BOOK END 2019』
編集作業費支出	0	0	0	
制作費支出	1,300,000	1,210,680	89,320	
事業活動支出合計	4,780,000	4,099,504	680,496	
事業活動収支差額	-589,900	1,458,056	-2,047,956	

科 目	予算額	決算額	増減(予-決)	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
長期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
	200,000	0	200,000	
当期収支差額	-789,900	1,458,056	-2,247,956	
前期繰越収支差額	674,952	674,952	0	
次期繰越収支差額	-114,948	2,133,008	-2,247,956	

2020年度 収支予算

2020年4月1日～2021年3月31日
単位:円

科目	予算額	前年予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①受取会費収入	4,200,000	3,640,000	560,000	
賛助会員	140,000	180,000	-40,000	20,000×7口（現在7団体）
正会員	4,000,000	3,400,000	600,000	8,000×500名（現在約500名）
準会員	60,000	60,000	0	準会員16名
②事業収入	420,000	420,000	0	
研究活動事業収入	20,000	20,000	0	
フォーラム収入	20,000	20,000	0	入場者収入
研究会収入	0	0	0	参加費収入
出版事業収入	400,000	400,000	0	『絵本 BOOK END』売上
③雑収入	150,100	130,100	20,000	
受取利息収入	100	100	0	
入会金収入	100,000	80,000	20,000	入会金2,000×50名
雑収入	50,000	50,000	0	出版物在庫販売
事業活動収入合計	4,770,100	4,190,100	580,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	2,480,000	2,370,000	110,000	
人件費支出	400,000	400,000	0	
事務局報酬支出	400,000	400,000	0	事務局賃金等
事業費支出	2,080,000	1,970,000	110,000	
消耗品費支出	50,000	50,000	0	事務消耗品費
印刷製本費支出	680,000	710,000	-30,000	
絵本学会ニュース	150,000	170,000	-20,000	絵本学会 NEWS67,68,69号
研究紀要	320,000	450,000	-130,000	『絵本学』23号
会員名簿	120,000	0	120,000	
その他	90,000	90,000	0	封筒印刷代、払込書印字代
通信運搬費支出	520,000	500,000	20,000	NEWS等発送費・通信費
旅費交通費支出	500,000	500,000	0	理事旅費等（理事会4回/年）
会議費支出	100,000	0	100,000	
広告費支出	140,000	120,000	20,000	
印刷物制作費支出	0	0	0	
HP更新作業費支出	140,000	120,000	20,000	
振込手数料	10,000	10,000	0	
雑支出	80,000	80,000	0	発送作業労賃等
②活動費支出	1,500,000	1,110,000	390,000	
大会運営補助金支出	400,000	400,000	0	ポスター等制作費を含む
第23回絵本学会大会補助金	400,000	400,000	0	
専門委員会活動費支出	950,000	560,000	390,000	
企画委員会	200,000	170,000	30,000	フォーラム等
紀要編集委員会	100,000	100,000	0	紀要編集等
機関誌編集委員会	100,000	70,000	30,000	『絵本BOOK END』編集
研究委員会	100,000	80,000	20,000	研究会主催
広報委員会	100,000	110,000	-10,000	『絵本学会 NEWS』編集
特別委員会	350,000	30,000	320,000	日本絵本研究賞
研究助成費支出	150,000	150,000	0	
③出版事業支出	1,200,000	1,300,000	-100,000	『絵本BOOK END 2020』
編集作業費支出	0	0	0	
制作費支出	1,200,000	1,300,000	-100,000	
事業活動支出合計	5,180,000	4,780,000	400,000	
事業活動収支差額	-409,900	-589,900	180,000	

科目	予算額	前年予算額	増減	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動の部				
1. 財務活動収入				
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
長期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
	200,000	200,000	0	
当期収支差額	-609,900	-789,900	180,000	
前期繰越収支差額	2,133,008	674,952	1,458,056	
次期繰越収支差額	1,523,108	-114,948	1,638,056	

絵本学会 2019年度 財産目録

単位:円

項目	一般会計	20周年積立金	合計	備考
2019/3/31				
手元有高	101,729		101,729	
りそな銀行	0		0	
ゆうちょ銀行	98,505		98,505	
定期貯金	0	1,500,000	1,500,000	
振替口座	74,718		74,718	
未収金	0		0	
仮払金	400,000		400,000	
計	① 674,952	1,500,000	2,174,952	
2020/3/31				
1年後の増減	② 1,458,056	0	1,458,056	
結果	①+② ③ 2,133,008	1,500,000	3,633,008	
③の内訳				
手元有高	208,396			
りそな銀行	0			
ゆうちょ銀行	1,203,200			
定期貯金	0	1,500,000		
振替口座	318,718			
未収金	0			
仮払金	400,000			
細目不明金	2,694			
計	④ 2,133,008	1,500,000	3,633,008	

2020年3月31日現在

絵本学会会則変更

特別委員会の名称を「日本絵本研究賞運営委員会」に変更する。

【現】(平成30年6月2日から施行される。)

絵本学会会則

■第9条(専門委員会)

1. 本会に次の専門委員会を置く。(別に細則を定める。)

- (1) 企画委員会 各種事業の企画、運営等
- (2) 紀要編集委員会 紀要「絵本学」の刊行
- (3) 機関誌編集委員会 機関誌「BOOKEND」の刊行
- (4) 研究委員会 各種、研究活動の支援等
- (5) 広報委員会 会報の発行、ホームページの運営等
- (6) 特別委員会 日本絵本研究賞の運営等

【変更案】

1. 本会に次の専門委員会を置く。(別に細則を定める。)

- (1) 企画委員会 各種事業の企画、運営等
- (2) 紀要編集委員会 紀要「絵本学」の刊行
- (3) 機関誌編集委員会 機関誌「BOOKEND」の刊行
- (4) 研究委員会 各種、研究活動の支援等
- (5) 広報委員会 会報の発行、ホームページの運営等
- (6) 日本絵本研究賞運営委員会 日本絵本研究賞の運営等

紀要編集委員会からのお知らせ

◎絵本学会紀要『絵本学』第23号投稿論文募集について
絵本学会紀要『絵本学』第23号への投稿論文を募集します。なお、下記投稿規程の他に執筆要項があります。原稿は、必ず執筆要項に従って作成してください。執筆要項は、前号絵本学会NEWS66号をご覧ください。絵本学会ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

絵本学会研究紀要『絵本学』投稿規程

◎投稿資格: 絵本学会会員および準会員

2020年8月31日までに会員資格を有していること。

◎内容: 絵本に関する研究論文、研究ノート、論説、報告で、未発表のもの。

【研究論文】研究の視点や手法、理論展開及び結論に独創性や説得力が高く認められるもの

【研究ノート】研究の基礎データになる資料、あるいは理論構築の可能性が認められるもの

【論説】学術的な論で、注目すべき研究・作品・作家・展覧会・活動を取り上げての評論など

【報告】活動紹介や文献紹介など

●掲載採択: 査読に基づき、編集委員が掲載の採否を決定する。必要に応じて編集委員の外に査読委員を依頼する場合があります。採否判定の過程・理由は開示しない。ただし、投稿者は、結果について説明を求めることができる。この場合、編集委員会は申し出の内容を精査の上、適正範囲内で回答する。

●執筆要項: 執筆は別に定める執筆要項に従うこと。

●投稿締切: 2020年9月30日(必着)

●採択通知: 2020年12月15日までに投稿者へ通知する。

●刊行: 2020年度内

●原稿送付先: 絵本学会事務局(郵送とする。FAX、電子メールなどによる送付は不可)

<文章量についての注意>

絵本学会紀要『絵本学』へ投稿を希望される方は、執筆要項をよく読んで、原稿を作成して下さい。特に、文章量にはご注意ください。

絵本学会紀要『絵本学』は第1号以来、同じ書式で作成しています。現在の紀要のページ割では、註・引用文献・参考文献を含め、研究論文は8ページ、研究ノートは6ページ、論説と報告は4ページを原則とします。このうち、はじめの左半ページは、表題、執筆者名、専門分野、和文・英文抄録等の記載に使用します。本文は右半ページからはじめます。

第4回 日本絵本研究賞・日本絵本研究賞特別賞

絵本についての優れた論文・評論及び、著書の推薦を募集します。

1997年に創設された絵本学会は、創立20周年を記念して、絵本研究や評論活動のさらなる活性化を図るため、日本絵本研究賞を創設しました。

第3回の日本絵本研究賞選考委員会に於いて、日本絵本研究賞のあり方についての抜本的な見直しが必要であるとの指摘を受けました。そのため、2019年度絵本学会総会に諮った上で日本絵本研究賞の開催を一旦中断し、日本絵本研究賞特別委員会及び絵本学会理事会において鋭意見直しの検討を行ってまいりました。

その結果、第4回より以下の通り変更し、新たにスタートすることいたしました。

- 1) 優れた論文・評論を対象とする日本絵本研究賞のほかに、新たに著書を対象とする日本絵本研究賞特別賞を設けることにいたしました。
- 2) 絵本学会の単独の主催とします。後援には公益社団法人全国学校図書館協議会他を予定し、今後さらに関連学会への依頼を行います。
- 3) 作品の募集は、賞の選考対象期間内に発表された絵本研究から絵本学会会員による推薦(自薦及び他薦)によって行います。会員による推薦は毎年募集します。
- 4) 一次選考は、会員による推薦(自薦及び他薦)をもとに日本絵本研究賞運営委員会(日本絵本研究賞特別委員会の名称を変更しました)が行います。一次選考は毎年開催します。
- 5) 最終選考は、運営委員会の一次選考をもとに、選考委員会によって3年に一度行われ、入賞発表及び表彰は絵本学会大会で行うことにいたしました。第4回は例外的に2年分の論文、著書を対象としますが、第5回目以降は3年分の論文、著書を対象に3年に一度行います。

日本絵本研究賞・日本絵本研究賞特別賞は、論文、著書の作者が絵本学会会員であるか否かや論文の文字数の制限をなくし、対象期間内に発表されたすべての絵本研究の中から、最も優れた作品を選び、表彰いたします。絵本学会は、学会員の協力を得ることによりこの賞が日本の絵本研究と絵本学会の発展につながることを確信して、全力で取り組んでまいります。

会員の皆様のたくさんの推薦をお待ちしています。

◎主催：絵本学会 後援：公益社団法人全国学校図書館協議会ほか

◎賞の種類

・日本絵本研究賞(以下研究賞とする)

絵本研究や評論活動に関するすぐれた論文に対して与えられます。今後に期待ができる意欲的な論文に対しては日本絵本研究賞奨励賞が与えられます。

・日本絵本研究賞特別賞(以下特別賞とする)

絵本研究や評論活動に関する特にすぐれた図書に対して与えられます。

◎賞の対象

2018年10月1日～2020年9月30日の期間内に発表された、絵本についての研究論文や評論、報告(実践、調査報告)。*ブログ、SNS、個人的な趣の強い発表などは除きます。研究賞は、学会・大学・博物館・美術館の紀要、展覧会図録などに発表された論文、評論を対象とします。紀要などへの掲載回数や文字数は問いません。特別賞は、上記期間に発表された図書を対象とし、特に優れていると認められる場合に授与します。なお、対象作品の著者は絵本学会会員でなくてもかまいません。

◎推薦(自薦及び他薦)受付期間

2020年11月1日(日)～11月30日(月)必着

◎推薦宛先・問い合わせ先

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

刈谷市美術館内 絵本学会事務局

FAX:0566-26-0511 e-mail:office@ehongakkai.com

推薦方法等は絵本学会ウェブサイトでも公開します。

◎推薦資格

・絵本学会会員

2020年9月1日(火)時点で入会手続きが完了していることとします。

・研究賞は絵本に関する論文、評論、報告を、特別賞は絵本に関する図書を推薦いただけます。

◎推薦方法・推薦規程

・推薦に際しては絵本学会ウェブサイトから所定の書式をダウンロードしてください。送付先を明記した封筒には「日本絵本研究賞」と朱書きしてください。

・研究賞は、推薦される論文・評論・報告の著者名、タイトル、掲載誌、出版社、出版年月を明記し、200～300字程度の推薦理由を付け、コピー1部を添えてお送りください。特別賞の場合は著者名、出版社名、出版年月を明記し、200字～300字程度の推薦理由を付けてお送りください。図書の送付は不要です。

・自薦・他薦は問いません。

・それぞれについて、お一人で複数の推薦をすることが可能です。

・メールによる問い合わせの際には、「日本絵本研究賞」と但し書きをしてください。

◎入賞発表

2021年の絵本学会大会で発表します。次いで『絵本学会NEWS』、機関誌『絵本BOOKEND』、及び全国学校図書館協議会発行の『学校図書館』『学校図書館速報版』に掲載します。

◎表彰

日本絵本研究賞、日本絵本研究賞特別賞の表彰式は2021年開催予定の絵本学会大会において挙ります。

◎賞

日本絵本研究賞 賞状及び賞金(50,000円)

日本絵本研究賞奨励賞 賞状及び賞金(30,000円)

日本絵本研究賞特別賞 賞状及び賞金(50,000円)

◎受賞作品の掲載

受賞作品の要旨を、直近で発行予定の『絵本学会NEWS』、あるいは機関誌『絵本BOOKEND』に掲載します。

◎選考委員

理事会において「第4回日本絵本研究賞・日本絵本研究賞特別賞」の新たな選考委員の選任を行います。決定したいお知らせします。

絵本学会 Who's who

今号は、丸尾美保理事について、『絵本学』『絵本研究参考文献目録』の作成に長らく携わってくださった永田桂子さんがご紹介してくださいました。

丸尾美保理事はこんな人

紀要『絵本学』掲載の「文献目録」を支えてくださった方

永田 桂子

絵本学会研究紀要『絵本学』には、毎号、報告として文献目録が掲載されています。

この目録の草創期にずっと関わってくださったのが丸尾さんです。目録の出発は、『絵本学』5号(2003年)の「報告：「絵本画家による絵本論」文献解題」にあたります。これは、当時、梅花女子大学大学院で三宅興子先生が指導されていた絵本研究ゼミの方が数名で担当されたもので、そのなかの一員として参加されました。このゼミの方達によって、6号(2004年)から「報告」として前年度に発行された絵本関係の研究文献目録の掲載が始まります。6号には「報告：絵本原画展・図録 文献解題」も掲載されています。続いて7号(2005年)には「報告：絵本論 文献解題」が、8号(2006年)には「報告：絵本史 文献解題」が掲載されます。

そして9号(2007年)から、丸尾さんと永田の二人で絵本研究参考文献目録を担当することになります。そのときのタイトルは「報告：2006年度絵本参考文献目録(2005年9月-2006年8月発行分)」でした。当初は収集する文献の年度や枠組みなど試行錯誤でした。枠組みは[単行本][図録][雑誌][紀要論文]にざっと分類し、丸尾さんは[紀要論文]を重点的に担当して下さいました。

紀要のピックアップは、基本的にCiNii Articlesや国会図書館目録を詳細検索して、キーワード「絵本」で検索をかけて抽出し、実物にあたって確認をとる、という大変根気のいる作業です。

お気づきのように絵本の研究や記事は年々増加し、二人だけでは手に負えなくなってきましたので、17号(2015年)から3名の方に加わっていただき、5名で分担作業をするにしました。丸尾さんは[紀要論文]を継続担当して下さいましたが、絵本研究の視点や方法は多岐にわたるため、論文をどのように整理したら会員の皆さんが捉えやすきに腐心され、16号(2014年)から紀要論文の大分類を[作品・作家・表現研究]と[実践研究]の2つにし、下位分類も設定されました。ただ、論文というのは一つの物差しで分類できるものではありません。毎回「これでいいのかしら」と随分悩まれていました。分類は本格的に取り組むと身動きがとれなくなりますから、「とりあえずの大きな分類で大丈夫。わかりやすいわよ」などと私は気軽に応えておりましたが……

やがて5人のメンバーいずれも継続がむずかしくなり、19号(2017年)を最後に後任にバトンタッチをいたしました。これを機に、丸尾さんも文献目録の担当から退かれました。振り返ってみると、丸尾さんは、現在の絵本研究参考文献目録の形ができるまでの最初の15年間を支えてこられたわけです。丸尾さんの誠実さは、私は大阪国際児童文学館(現大阪国際児童文学振興財団)に勤務していた頃から存じ上げていますが、紀要『絵本学』の「文献目録」初期形体は、丸尾さんの誠実さの具体的な表出だったと言えるでしょう。

なんだか硬い説明が続いてしまいました。文献目録の初校の突き合わせの際に丸尾邸でいただいた手料理はとてもおいしかったです(やはり食物の思い出は強い!)

丸尾さんのご専門の、ロシアの絵本に関する研究のまとまりを拝見するのを楽しみに待っています。

新入会員の自己紹介コーナー

岡田 達信

はじめまして。兵庫県出身、千葉県在住の岡田達信と申します。もともとは住宅建築の技術者(一級建築士)です。娘(現在25歳)への読み聞かせをきっかけに、大人になってから絵本の奥深さに目覚めました。当時は大企業で人材育成の仕事をしていましたが、研修よりも絵本から気づかされる事が多く、ビジネスマンに絵本を勧める活動を始めました。そんな流れの中、13年前に始めたワークショップ「大人のための絵本セラピー」が多くの人の応援を頂き、今では私の志事(ライフワーク)となっております。2018年から韓国にも活動が広がっています。

全く違う業界から入り(わが子を除けば)ほとんど大人にばかり絵本を読んできた私にとって絵本学会は縁遠い存在だと思っていました。しかし「絵本BOOKEND 2017」の中に自分の名前を見つけ、急に身近な存在に感じられました。このたび入会させて頂きとても嬉しいです。ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。



イラスト：井之口真央

絵本学会理事会報告

◎2019年度第4回絵本学会理事会 議事録

日時：2020年4月28日(火)メールによる審議
※新型コロナウイルス感染症対策のため

回答：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 今田由香
佐々木由美子 藤本朝巳 長野麻子 鈴木穂波
生田美秋 丸尾美保 甲木善久 甲斐聖子(事務局補助)

◆報告事項

1 前回2019年度第3回絵本学会理事会議事録の確認
承認された。

2 事務局より

①後援依頼があり、以下1件の事業後援を行うことにした。

・大阪国際児童文学振興財団「第37回日産童話と絵本のグランプリ」
2020年6月26日～10月5日

◆審議事項

1 入退会者について(2020年3月1日～4月28日)

以下の新入会者が承認された。

入会者：吉田真理子 中西亮太 杉原千恵美 村田康常
渡部晃子 佐々木豊 林 玲穂 辻本すみ子
畑山朗詠 (申込日順) 計9名

退会者：阿部紀子 岩下祐子 岸 美桜 平野雅彦 井下美由紀
矢野 真 原田早苗 南 香織 染谷照代 望月富美子
竹崎里砂 藤代亜紀 田中友子 中西美季 塚本やすし
計15名

2 事務局より

①第23回絵本学会定期総会資料について(2020年度活動計画案)
承認された。

②第23回絵本学会定期総会資料について(2020年度予算案)
承認された。

③第23回絵本学会大会の延期について
条件付きで承認された。

3 特別委員会より

①特別委員会日本絵本研究賞の見直しについて

後日、生田特別委員長から日本絵本研究賞規則等がメールされ、承認された。

編集後記

・いままで、まったくなじみのなかったZoomやら、WebEXやら、Google meetなどが、いっきに生活の中に入ってきました。会議も授業もオンラインになり、連日連夜パソコンに向かい合う日々のなかで、人と目をあわせることや、ただうなずいてもらうことが、どれだけ力を与えてくれたのかを思い知りました。学生たちと、そして子どもたちと、絵本を読みあう日が1日も早く戻ってきてくれることを願ってやみません。

(佐々木由美子)

・絵本と絵本研究の発展のため、絵本学会と日本絵本研究賞ができることはなにか。絵本学会理事会と日本絵本研究賞特別委員会は日本絵本研究賞の見直しについてさまざまな角度から検討を重ね、素案を作成し、この度の書面による総会審議で承認していただきました。すぐれた論文(日本絵本研究賞)、すぐれた著書(同特別賞)の選考と顕彰を行い、絵本研究の発展につなげていければと思っています。会員の皆さまの推薦をお待ちしています。

(生田美秋)

・新しい生活様式が習慣になってきた今日この頃ですが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。東京への一極集中が抱え込んでいる危険性が実感されたり、緊急性を欠いた「緊急事態宣言」やパフォーマンスにしか感じられなかった「東京アラート」など内実の無い言葉だけが跋扈するのを目撃したり、都道府県知事の力量を如実に感じ取ることができたり、赤字国債の額が日々膨らんでいくのを目の当たりにしたり、その他もろもろ未来に対する宿題を突きつけられている気がします。絵本を手にする子ども達の未来を明るいものに出来るかどうか、絵本を手渡す私たち大人の責任なのだと痛感する毎日です。

(甲木善久)

・15年ぶりに自転車を買いました。

晴れた日はリュックサックに絵本を入れて、風のそよぐ木陰の芝生まで漕いでいきます。

絵本は電気や再生機器がなくてもいつも読めて、そばにいてくれます。創り続けてくださる方、届けてくださる方に感謝します。

そして今号もご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(宮崎詞美)